

発言者	発言者の概要
<p>西田教育長</p> <p>学校教育課長</p>	<p>引き続き、議案 第26号 令和2年度に使用する小・中学校用教科用図書の採択について議事を行う。</p> <p>まず、説明の前に、採択地区協議会の概要について、説明をお願いしたい。</p> <p>宮崎採択地区協議会の設置の目的は、義務教育諸学校の教科用図書無償措置に関する法律（いわゆる無償措置法）第13条4項に基づき、宮崎市、綾町、国富町を併せた宮崎採択地区内の市町立小中学校で使用する教科用図書について、種目ごとに同一の教科用図書を採択するため協議することである。</p> <p>宮崎採択地区協議会の構成員は、1市2町の教育長、教育委員代表と宮崎市・綾町・国富町の保護者代表各1名の計9名である。</p> <p>今年度は、令和2年度から使用される小・中学校用の教科書採択のために、6月4日、7月12日に宮崎市生目の杜遊古館にて本協議会が行われた。12日の第2回宮崎採択地区協議会においては、投票により選定する教科書を決定している。</p> <p>採択地区協議会は、種目ごとに同一の教科用図書を採択するために設置されるが、採択権は、市町教育委員会にあるので、採択地区協議会が選定した教科用図書について、市町教育委員会の同意が得られなかった場合には、協議会は再協議を行うこと。市町教育委員会は、その再協議の場に、理由を明確に記した報告書を作成して提出すること。再協議の結果については、市町教育委員会はこれに従うもの、と定められている。</p> <p>採択地区協議会の説明は、以上である。</p>
<p>西田教育長</p> <p>学校教育課長</p>	<p>それでは、令和2年度に使用する小・中学校用教科用図書の採択について説明をお願いしたい。</p> <p>本年3月の文部科学省初等中等教育局の通知文により、小学校用教科書と、中学校用教科書（道徳以外）について、採択することとなっている。</p> <p>小学校用教科書については、11教科13種目種目（国語・書写・社会・地図・算数・理科・生活・音楽・図工・家庭・保健・道徳・英語）の採択について審議をお願いしたい。</p> <p>中学校用教科書については、平成27年度採択時の資料を活用して採択した教科書について審議をお願いしたい。</p> <p>このあと教科別の説明を、各担当指導主事が行う。</p>

西田教育長	<p>それでは、まず、小学校の各教科の審議に入る。</p> <p>まず、国語科及び書写の教科用図書について、宮崎採択地区協議会では「光村図書」を選定しているが、担当の説明をお願いしたい。</p>
事務局職員	<p>国語科における本地区の児童の実態を見ると、文章の内容をとらえるという知識・技能面に関しては力をつけてきているというよさがある。しかし、叙述をもとに根拠を明確にして自分の考えをまとめたり、友達との話し合いを通じて自分の考えを深め広げたりという思考力・判断力・表現力については課題が見られる。</p> <p>このような本地区の児童の実態を踏まえると、「話す・聞く」「読む」「書く」領域の言語活動を効果的に組み合わせることで、「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」を着実に身に付けられるような工夫が見られる教科用図書がふさわしいと考える。</p> <p>選定された光村図書においては、各教材の特性を生かして、単独の教材の単元や、「読むこと」と「書くこと」の領域の教材を組み合わせた単元をバランスよく配列したり、練習のための短い説明文の学習後に長い説明文を配置したりすることで身に付けた力を生かした学習ができるような工夫が見られる。また、「たいせつ」において、身につけるべき知識や技能を分かりやすく示すことで、根拠を明確に説明したり友達と意見を交流したりするなど、様々な言語活動や日常生活の中で生かすことができるようになっている。</p> <p>次に、書写について説明する。</p> <p>書写における本地区の児童の実態を見ると、手本を書き写すことに関しては興味をもって取り組めるというよさがある。しかし、書写に関する知識や技能には個人差が見られ、書写の能力を学習や生活に生かすなど、よく書こうとする意欲や態度は十分に身に付いていないという課題が見られる。</p> <p>このような本地区の実態を踏まえると、主体的に学ぶ意欲と、「書く力」を教科学習や日常生活に生かすための工夫が見られる教科用図書がふさわしいと考える。</p> <p>選定された光村図書においては、「学習の進め方」を示し、学習の見通しや意欲をもたせたり、観察や比較する活動を通して、意欲的に書字の原則を見つけさせたりする工夫が見られる。また、写真を用いて姿勢・持ち方を確認する場を設けたり、生活につながる言語活動を扱ったりすることで、「書く力」が日常生活に生かされるような工夫も見られる。</p>
西田教育長	<p>ただいまの説明に対して、質問や意見はないか。</p>
今門委員	<p>読書活動推進の観点では、どのような工夫がされているか。</p>

事務局職員	<p>図書室や図書館の利用の仕方についての小単元が配置されており、読みたい本の探し方や疑問に思ったことの調べ方等を学ぶことができる。また、実際の本を紹介して発展的に学べる小単元も配置されている。このことについては、各学年の系統性も考慮されている。</p>
西田教育長	<p>書写の方では質問や意見はないか。</p>
江草委員	<p>国語と書写の発行者は、同じであるが、違ってもよいのか。</p>
事務局職員	<p>違ってもかまわない。ただ、今回選定された光村図書においては、国語の教材を書写でも扱っている。</p>
西田教育長	<p>質問がなければ決議する。国語科の教科用図書は「光村図書」でよろしいか。</p> <p>「異議なし」</p>
西田教育長	<p>異議がないのでこれを採択する。</p> <p>次に、書写について決議する。書写の教科用図書は「光村図書」でよろしいか。</p> <p>「異議なし」</p>
西田教育長	<p>異議がないのでこれを採択する。</p>
西田教育長	<p>次に、社会科及び地図について、宮崎採択地区協議会では社会科の教科用図書を「日本文教出版」、地図を「帝国書院」を選定しているが、担当の説明をお願いしたい。</p>
事務局職員	<p>本教科における本地区の児童の実態として、よさとしては、県央地区の交通の利便性や各種イベントにふれる機会が多いことにより、社会的な出来事への興味・関心などが比較的高いことが挙げられる。しかし、社会科学習の視点からは、「資料内容を読み取る力」や「資料を比べたり関連づけたりする力」が十分ではなく、学習内容と自分たちの生活とのかかわりについて考えるとともに、「考えをまとめたり、分かりやすく表現したりする力」をさらに育成していくことが求められる。</p> <p>このような本地区の児童の実態を踏まえると、「資料の理解と活用する力」を高めるほか、「自分と社会とのかかわり方を考えさせ、多</p>

	<p>様に表現できる」など、「思考・判断・表現力等を育む問題解決的な学習が一層進められる工夫が多く見られる教科書」がふさわしいと考える。</p> <p>選定された「日本文教出版」の教科用図書においては、各学年に「教科書の使い方」ページを設けたり、随所に、「学び方・調べ方コーナー」やデジタルマークなどを示したりして、問題解決に向けた学習に必要な知識・技能の習得ができるように工夫されている。また、異なる立場から話し合い、どう行動すればよいかを考え、さらに、考えたい問題をノートにまとめるなどの例を示すなど、社会との関わりを選択・判断しながら、思考力・判断力・表現力等を育成できるような工夫も見られる。</p> <p>その他、地域に関わる教材として、「火山災害における高原町の取組」や「宮崎平野でのピーマン栽培」、「畜産業における口蹄疫被害からの復興」等が取り上げられており、本地区児童の学習意欲を喚起するとともに、学習内容と自分たちの生活とのかかわりについて考えさせることができる。</p> <p>続いて、地図帳について説明する。</p> <p>本地区の児童の実態として、よさとしては、「社会的な出来事への興味・関心などが比較的高いこと」などがあげられる。しかし、都道府県の名称と位置に関する内容や、地図の索引に関する内容の定着などに課題がある。</p> <p>本地区の実態を踏まえると、地図索引を活用しながら、都道府県名の名称と位置を確かめることができるなどの工夫が、より多く見られる地図帳がふさわしいと考える。</p> <p>選定された「帝国書院」の教科用図書においては、索引の引き方について地名の探し方を順序立てて説明するほか、索引一覧の地名で、都道府県名や歴史地名などの文字色を変えるなど、児童が活用しやすい工夫がなされている。また、社会的事象を読み取りやすいように縮尺を変え、地理的な位置や、地域間の結び付きを的確に捉えやすくするための工夫や、地図マスターへの道による、学習への手がかりの提示も見られる。</p>
西田教育長	<p>ただ今の説明について質問や意見はないか。</p> <p>「特になし」</p>
西田教育長 事務局職員	<p>地図について確認したい。地図には、高木岬は表記されているか。</p> <p>南極にある高木岬は、帝国書院の地図にのみ表記されている。</p>
柳田委員	<p>社会科の課題として、考えをまとめたり分かりやすく表現したりする力の育成が挙げられているが、日文の教科書を見ると、グラフ</p>

	<p>の読み取り方や表現の仕方などが繰り返し扱われている。このような工夫が本地区の実態に合っているということによいか。</p>
事務局職員	<p>その点についても採択地区協議会の中で研究し、確認している。</p>
西田教育長	<p>質問がなければ決議する。社会科の教科用図書は「日本文教出版」でよろしいか。</p> <p>「異議なし」</p>
西田教育長	<p>異議がないのでこれを採択する。</p>
西田教育長	<p>次に、地図について決議する。地図は「帝国書院」でよろしいか。</p> <p>「異議なし」</p>
西田教育長	<p>異議がないのでこれを採択する。</p>
西田教育長	<p>次に、算数科の教科用図書について、宮崎採択地区協議会では「啓林館」を選定しているが、担当の説明をお願いしたい。</p>
事務局職員	<p>本教科における本地区の実態として、よさとしては、これまでの学校・家庭の学習の成果が表れ、基礎的・基本的な内容の定着が図られてきていることが挙げられる。しかし、一方で、立式はできるが式の意味の理解が不十分であったり、算数用語を使って分かりやすく説明したり表現したりすることが苦手であったり、日常の事象に置き換えた問題に対する解決に個人差があったりするなど、応用力や活用力に課題が見られる。</p> <p>このような本地区の児童の実態を踏まえると、これまでに学習した内容をもとにしながら、「数学的な見方や考え方の力を付けるための工夫」や、「日常生活と関連付けて問題を解決する力を身に付けるための工夫」が多く見られる教科書がふさわしいと考える。</p> <p>選定された「啓林館」では、「学びをいかそう」を設定し、学習した内容を活用して日常生活と関連を広げる工夫がなされている。また、内容や指導の充実については、数学的な見方や考え方を身に付けさせるために、めあてを全ての時間で例示し、児童の主体的な考えや気づきを強調して取り扱うことで、主体的・対話的で深い学びが展開できるように工夫されている。利便性の向上については、児童にとって分かりやすくするために、学習内容のポイントとなる箇所QRコードを掲載して、学習の参考となる動画や補充問題等を</p>

	授業や家庭学習で活用できるような工夫も見られる。
西田教育長	ただいまの説明に対して、質問や意見はないか。 「特になし」
西田教育長	質問がなければ決議する。算数科の教科用図書は「啓林館」でよろしいか。 「異議なし」
西田教育長	異議がないのでこれを採択する。
西田教育長	次に、理科の教科用図書について、宮崎採択地区協議会では「啓林館」を選定しているが、担当の説明をお願いしたい。
事務局職員	本教科における本地区の実態について、よさとしては、理科に対する興味・関心が高いということである。しかし、課題として、学習した内容を日常生活や社会生活に活用したり関連付けて考えたりすることや、記述式の問題に回答する力が不十分な傾向が見られる。 このような本地区の児童の実態を踏まえると、学習した内容を、単なる知識としてだけでなく、既習事項や他教科、具体的な場面等と関連付けて考え、思考力・判断力・表現力を育成するための工夫が多く見られる教科書がふさわしいと考える。 選定された「啓林館」の教科用図書においては、単元導入での「はじめに考えてみよう」や、単元末での「もう一度考えてみよう」で、学びの見通し、振り返りができるようにするとともに、学習した内容の習得が実感でき、学び続ける意欲がもてるような工夫が見られる。また、混同しがちな結果、考察、結論を区別するため「結果」「結果から考えよう」「まとめ」と明示することで、問題解決の能力を高めるよう工夫されている。「新しく学習した言葉」というコーナーや巻末索引によって基本的な知識が確実に定着するような工夫も見られる。さらに、単元末の「まとめノート」では、学習した内容をイラストと短文でまとめた例を示すことで、学習した大切なことを一目で振り返りやすくする工夫も見られる。
西田教育長	ただいまの説明に対して、質問や意見はないか。
今門委員	QRコードの内容について把握していることがあれば伺いたい。
事務局職員	QRコードを読み取ると、各学習における具体的な場面の動画等を見ることができる。啓林館の教科書では、QRコードが多数使わ

	<p>れており、授業で活用できる。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>他教科でも、QRコードが多数使われている。ICTの活用ということでどの発行者も積極的に活用している。しかし、まずは教科書の内容でしっかりと学習内容をおさえることができるかどうかということが重要である。採択地区協議会においては、QRコードはあくまで補助的な役割であることを確認している。ただ、英語の発音等については、その必要性を確認して調査研究及び協議を行ってきた。</p>
<p>西田教育長</p>	<p>質問がなければ決議する。理科の教科用図書は「啓林館」でよろしいか。</p> <p>「異議なし」</p>
<p>西田教育長</p>	<p>異議がないのでこれを採択する。</p>
<p>西田教育長</p>	<p>次に、生活科の教科用図書について、宮崎採択地区協議会では「啓林館」を選定しているが、担当の説明をお願いしたい。</p>
<p>事務局職員</p>	<p>本教科における本地区の児童の実態として、よさとしては、恵まれた自然の中で、地域社会の人々に見守っていただきながら、意欲的に学習に取り組んでいることが挙げられる。しかし、個別的にみると野外での遊びよりも家庭内でのゲームの方に興味をもち、体験活動が乏しい児童や自分の考えを表現することに苦手意識のある児童がいる状況も見られる。</p> <p>そこで、本地区の児童の実態を踏まえると、多様な体験活動や自分の考えを表現することについて具体的な方法や事例の提示の仕方等についての工夫がより多くみられる教科書がふさわしいと考える。</p> <p>採択された「啓林館」の教科用図書においては、思考ツール等の具体例や多様な表現方法、児童の発達段階に応じたワークシート例が示されるなど、学習活動の質を高められるような工夫が見られる。また、単元については、上巻巻頭に「すたあとぶっく『がっこうだいすき あいうえお』」が設定され、幼児期に親しんだ活動や合科的・総合的な学習活動の例示が用いられた構成の工夫が見られる。さらに、教科書の端には「あきをさがしに出かけよう」や「もっとあきをさがしたいな」などの「めくり言葉」が配置されており、児童の思考の流れに合わせて、連続的に学習を展開できるような工夫も見られる。</p>
<p>西田教育長</p>	<p>ただいまの説明に対して、質問や意見はないか。</p>

柳田委員	<p>思いや考えを表現することに課題があるとのことであるが、表現することへの具体的な工夫は、どのようなことが挙げられるか。</p>
事務局職員	<p>例えば、掲載された板書例の中には思考ツールが示されている。このような工夫により、子どもの気付きを関係付けさせ、思いや考えの表現につなげられるようにしている。</p>
西田教育長	<p>質問がなければ決議する。生活科の教科用図書は「啓林館」でよろしいか。</p> <p>「異議なし」</p>
西田教育長	<p>異議がないのでこれを採択する。</p>
西田教育長	<p>次に、音楽科の教科用図書について、宮崎採択地区協議会では「教育出版」を選定しているが、担当の説明をお願いしたい。</p>
事務局職員	<p>本教科における本地区の児童の実態として、歌唱や器楽に関する意欲が高く、基本的な技能を身に付けた児童が多い。また、聴き取ったことや感じ取ったことを言葉にして伝え合う活動を通して、音楽の構造や要素に気付き、イメージを広げていくことができる児童が増えている。しかし、学習意欲が十分でない児童や技能面に関して苦手意識をもつ児童もおり、二極化傾向にあることや、即興的に表現したり、様々な発想を生かした音楽づくりに主体的に取り組んだりするまでには至っていないという課題も見られる。</p> <p>このような本地区の児童の実態を踏まえると、「主体的・対話的で深い学び」の実現を図るために、歌唱や器楽、鑑賞の活動を通して身に付けた知識・技能・表現を生かした音楽づくりが充実した活動になるよう配慮された教科書がふさわしいと考える。</p> <p>採択された「教育出版」の教科用図書においては、児童が思いや意図をもちながら音楽活動が行えるように、題材を軸に、教材性を生かして関連・対照・対比されながら設定されており、表現と鑑賞の活動が効果的に組み合わせられるという特色が見られる。例えば、4年生では、サウンド・オブ・ミュージックの鑑賞から入り、歌唱をしたり、合奏をしたりという学習の展開になっている。</p> <p>また、主体的・対話的で深い学びの実現を図るために、全学年に学習の進め方の項目が分かりやすく示されていたり、学びを生かすための音楽づくりの教材が系統的に配置されていたりして、協働的な学びを引き出すような資料の特徴が見られた。具体的には、友だちと協働しての学習の進め方が「学び合う音楽」として分かりやすく示されている。</p>

	<p>加えて、我が国や郷土の音楽に親しめるように、日本の民謡が取り上げられており、宮崎県の民謡「ひえつき節」も写真付きで紹介されている。</p>
西田教育長	<p>ただいまの説明に対して、質問や意見はないか。</p> <p>「特になし」</p>
西田教育長	<p>質問がなければ決議する。音楽科の教科用図書は「教育出版」でよろしいか。</p> <p>「異議なし」</p>
西田教育長	<p>異議がないのでこれを採択する。</p>
西田教育長	<p>次に、図画工作科の教科用図書について、宮崎採択地区協議会では「日本文教出版」を選定しているが、担当の説明をお願いしたい。</p>
事務局職員	<p>本地区の児童の実態をみると、図画工作科の時間を心待ちにしており、興味・関心をもって意欲的に楽しく活動できるといったよさがある。しかし、発想を広げ主体的に取り組む創造活動については十分とは言えず、基礎的・基本的な知識や能力を習得し、自分の思いや考えを表現する喜びを味わうまでには至っていないのが現状である。</p> <p>このような実態を踏まえると、児童が楽しみながら意欲的に活動でき、基礎的な能力を育成するための題材設定や一人一人が思いをもって表現方法を探り、自分らしい表現を求めていけるような活動内容の工夫がより多く見られる教科書がふさわしいと考える。</p> <p>選定された日本文教出版においては、本時の学習目標を分かりやすい言葉で示すとともに、使用する材料や用具などを考慮し、発達段階に応じて系統的に配列する工夫が見られた。</p> <p>また、児童の活動写真に添えて、思いや発想の広がりに関する吹き出し、多様な表し方を促す文などが多く例示されており、発想したり構想したりすることを促す工夫も見られた。</p> <p>加えて、宮崎県の「笑みこし」も掲載されており、児童が地域の活動への関心を高める工夫も見られる。</p>
西田教育長	<p>ただいまの説明に対して、質問や意見はないか。</p>
今門委員	<p>用具の使い方の指導についての工夫はあるか。</p>

事務局職員	<p>用具の使い方については、巻末に掲載されている。苦手な児童にも分かりやすいよう、用具はもちろん、材料についても扱われている。</p>
西田教育長	<p>質問がなければ決議する。図画工作科の教科用図書は「日本文教出版」でよろしいか。</p> <p>「異議なし」</p>
西田教育長	<p>異議がないのでこれを採択する。</p>
西田教育長	<p>次に、家庭科の教科用図書について、宮崎採択地区協議会では「開隆堂」を選定しているが、担当の説明をお願いしたい。</p>
事務局職員	<p>本教科における本地区の生徒の実態として、よさとしては、家庭科の学習が好きで、課題をもって意欲的に学習に取り組んでいる児童が多いということがあげられる。一方で、課題としては、基本的な知識や技能の習得については、調理に関する内容に比べ、ボタン付けやミシン縫いなど、衣に関する分野に苦手意識をもっている児童が多いということ、また、家族の一員として生活をよりよくしようと工夫する、実践的な態度を養うことについては個人差が大きいということがあげられる。</p> <p>このような本地区の実態を踏まえると、「衣」の分野について、縫い方などを分かりやすく学び取ることができるような教科書がふさわしいと考える。また、学んだことの実践化については、進め方や豊富な例を示すことで、実践してみたいという意欲を高めさせるような教科書がふさわしいと考える。</p> <p>採択された「開隆堂」の教科用図書にはおいては、家庭科の目標を達成するために、児童の発達の段階に応じて、平易なものから難しいものへと段階的に学習が展開できるような構成・配列の工夫が見られる。卒業前には、2年間の学習を振り返るページを置き、中学校での学習に生かそうとする意欲を高めるような工夫もなされている。また、「チャレンジコーナー」においては、各地に伝わる味噌料理を紹介し、宮崎県の郷土料理である冷や汁を紹介するなど、地域の特色を生かした工夫も見られる。</p> <p>本地域の児童が苦手とする「衣」に関する分野については、QRコードを効果的に活用し、楽しく学習活動ができるような実践例が豊富に紹介されている。</p>
西田教育長	<p>ただいまの説明に対して、質問や意見はないか。</p>
江草委員	<p>絵や写真を使った説明で分かりやすいが、他者ではこのような工</p>

	夫はなかったのか。
事務局職員	掲載されている絵や写真については、他者でも同様に分かりやすく学べる工夫が見られた。ただ、QRコードから閲覧できる内容については、他者では、一連の内容をまとめて掲載していることに対し、開隆堂では、ポイントごとに分けて掲載しており、分かりやすいということが挙げられる。
西田教育長	質問がなければ決議する。家庭科の教科用図書は「開隆堂」でよろしいか。 「異議なし」
西田教育長	異議がないのでこれを採択する。
西田教育長	次に、保健の教科用図書について、宮崎採択地区協議会では「東京書籍」を選定しているが、担当の説明をお願いしたい。
事務局職員	本教科における本地区児童の実態として、基本的な生活習慣や学習習慣、食習慣への関心が高い児童が多いことや、南海トラフ地震に伴う津波被害を最小限にとどめるための防災・減災に対する意識が高まりつつあるなどが挙げられる。しかし、食習慣においては、朝食の摂取率は高いが、栄養バランス上や内容に偏りが見られることや、自然災害に対しては、児童自らが課題を見付け、主体的に学び、思考を深めることが十分でないなどの課題が見られる。 そこで、本地区の児童の実態を踏まえると、よいところを一層伸ばす点では、基本的な生活習慣の定着につながる内容や防災意識の高揚についてより多く記載されている教科書がふさわしいと考える。選定された「東京書籍」の教科用図書においては、児童が学習課題を身近な生活や経験に基づき発見したり、解決したりできるように、「資料」や「Dマーク（動画やシュミレーション）」コーナーが設けられ、健康の保持増進に必要な資質や能力の基礎を培うことができるよう工夫されている。また、児童の「思考力・判断力・表現力等」を育成するために「気づく・見つける」において、ページ全面を使った資料で生活経験を振り返り、気付いたことや見つけたことを記述する場面、「深める・伝える」において、自分の考えを整理するための視点に沿って記述し、説明する場面が位置付けられている。
西田教育長	ただいまの説明に対して、質問や意見はないか。
今門委員	自然災害に対しては、児童自らが課題を見付け、主体的に学び、思考を深めることが十分でないとのことであったが、自然災害に関

事務局職員	<p>することについては、どのような取扱いがされているのか。</p> <p>本教科用図書に限らず、各者において、自然災害を取り扱っている。選定された東京書籍においては、どの単元も4ページ構成となっており、「気付く・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」の4段階で構成されており、主体的に学び思考を深めることが十分でないという本地区の児童の課題を解決する上でも有効であると考え。</p>
西田教育長	<p>質問がなければ決議する。保健の教科用図書は「東京書籍」でよろしいか。</p> <p>「異議なし」</p>
西田教育長	<p>異議がないのでこれを採択する。</p>
西田教育長	<p>次に、道徳科の教科用図書について、宮崎採択地区協議会では「日本文教出版」を選定しているが、担当の説明をお願いしたい。</p>
事務局職員	<p>本教科における本地区の児童の実態として、よさとしては、素直で、自ら進んで学ぼうとする児童が多いということがあげられる。一方、課題としては、授業によっては、話し合い活動が一部の児童で進められているといった現状が見られる。また、現代的な課題や社会問題への対応も課題となっている。</p> <p>このような実態をふまえると、道徳科の授業において、言語活動の充実により主体的な学習が促されるような教科書がふさわしいと考える。また、どこの学校でも起こりうるいじめ問題について、児童が自分自身の問題としてとらえ、考えられるような教科書がふさわしいと考える。</p> <p>選定された「日本文教出版」においては、言語活動を充実させるために、別冊にて、すべての題材に対応した「道徳ノート」を用意したり、巻頭にオリエンテーションのページを設け、道徳の意義や学び方等を児童の発達段階に応じて分かりやすく示したりする工夫が見られる。また、目次にあるように、「いじめの防止」が最も重要なテーマとして位置付けられ、複数の教材を1つのまとまり「ユニット」とすることで、学級の状況に応じて、学習を集中的に展開できるという工夫が見られる。内容や指導の充実については、「問題解決的な学習」や「体験的な学習」の手法を用いるのに適した教材が掲載されており、児童の学びと教師の指導の参考例として「学習の手引き」が示されるなど、主体的に自分とのかかわりで考えさせることができるような工夫が見られる。</p>

西田教育長	ただいまの説明に対して、質問や意見はないか。
島山委員	道徳については、国語の読み取りのような授業になってしまうといった課題も聞かれるが、教科書では、どのような工夫が見られるか。
事務局職員	これまでの授業の課題を解決するという点では、日文の教科書では、いじめを扱った資料も充実しており、心にうったえる教材が多数掲載されているということ、別冊の「道徳ノート」を活用することにより、児童自身が自らを振り返り、自身の変容や成長を確認することができるなどの工夫が見られる。このような教材を活用することで、これまで以上に、「道徳的価値について考える、自己を見つめる、多面的・多角的に考える」ことについて充実させていくことができると考える。
学校教育課長	道徳は、多様な価値に触れながら、自分の価値観をどうつくっていくかということが大切である。したがって、問題解決的な学習の中で自分の価値観の形成につながる教材が充実していることが重要なポイントになる。日本文教出版では、そういった教材がしっかり組み込まれている。複数の教材をユニット化することで、最初に考えたことが揺らいできたり、確かにしていったりといった学習過程を通して、自分の価値観を形成していくことができるような構成になっている。
西田教育長	質問がなければ決議する。道徳科の教科用図書は「日本文教出版」でよろしいか。 「異議なし」
西田教育長	異議がないのでこれを採択する。
西田教育長	次に、英語の教科用図書について、宮崎採択地区協議会では「東京書籍」を選定しているが、担当の説明をお願いしたい。
事務局職員	本教科における本地区の生徒の実態として、よさとしては、慣れ親しんだ語句や表現を臆せず活用しようとする積極的なコミュニケーションの態度が見られることが挙げられる。しかし、外国語でコミュニケーションを図るモデルが児童の身近に少なく、必要性の乏しい環境におかれているなどの課題も見られる。 本地区の児童の実態を踏まえると、コミュニケーションを図る学習が豊富に組み込まれていること、音声やイラストが効果的に用いられ、いつでも自分から学べる配慮がしてあること、児童が主体的に学べ

	<p>るようにゴールイメージが明確に示されていること、この3つの要件を満たす教科書がふさわしいと考える。</p> <p>採択された「東京書籍」においては、技能定着を図る活動として、「Small Talk」が2時間に1回位置付けてある。また、単元の最後に配置された「Over the Horizon」では、外国語の背景にある文化に視野を広げるなど、各単元の目標を達成できるような工夫がなされている。また、目指すべき資質・能力を身に付けさせるために、単元末の「Enjoy Communication」では、目的・場面・状況、基本的な表現などを示し、コミュニケーション活動の例示も掲載されている。さらに、「まとめ」として、年3回「Check Your Steps」を設定し、形成的な評価を行うことで、子どもたちに着実に力をつけようとする工夫が見られる。</p> <p>別冊「Picture Dictionary」では、基本的な表現を元に、自分に合った言葉を選べるように、カテゴリー毎に絵と文字でまとめてあり、QRコンテンツが音声・映像で学べるように工夫されている。このことで、外国語でコミュニケーションを図るモデルが身近にいなくても、学習を充実させることができると考える。</p>
西田教育長	<p>ただいまの説明に対して、質問や意見はないか。</p> <p>「特になし」</p>
西田教育長	<p>質問がなければ決議する。英語の教科用図書は「東京書籍」でよろしいか。</p> <p>「異議なし」</p>
西田教育長	<p>異議がないのでこれを採択する。</p>
西田教育長	<p>最後に、道徳以外の中学校用教科書について、説明をお願いしたい。</p>
学校教育課長	<p>中学校用教科書（道徳科以外）の採択については、平成27年度採択における調査研究の内容を活用し、中学校の各部会長より平成28年度から令和元年度までの4年間の使用実績について意見聴取した。その際、全ての教科において「これまで使用してきた教科書で生徒の指導に問題はなかった」との回答を得ている。</p> <p>本採択地区においては、平成27年度採択における選定理由をもとに、それぞれの教科において令和2年度については、現在使用している教科書をそのまま使用することと判断された。</p>
西田教育長	<p>ただいまの説明に対して、質問や意見はないか。</p>

<p>西田教育長</p>	<p>「特になし」</p> <p>質問がなければ決議する。中学校用教科書（道徳以外）は、現在使用している教科書をそのまま使用することによろしいか。</p>
<p>西田教育長</p>	<p>「異議なし」</p> <p>異議がないのでこれを採択する。</p> <p>他に質問はないか。他になければ、議案第26号「令和2年度に使用する小・中学校用教科用図書採択」について、承認いただけるか。</p>
<p>西田教育長</p>	<p>「異議なし」</p> <p>議案第26号は承認された。</p> <p>以上で、第8回教育委員会定例会を終了する。</p>